■大久手計画工房との協働事業

・山梨県北杜市
中部横断自動車道活用検討
委員会関係者ワークショップ

・板橋区
補助第 26 号線と
沿道まちづくり
相談窓口開設支援業務

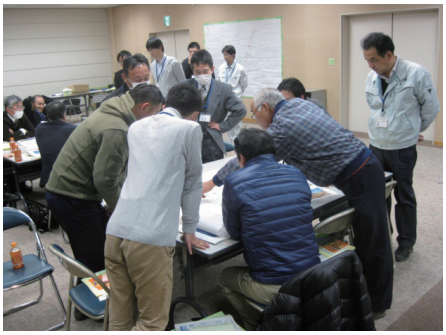
専門性提供事業　今まで蓄積したまちづくりのノウハウを活かし、主に玉川田園調布以外でまちづくりのお手伝いをしています

■大久手計画工房との協働事業

大久手計画工房との協働プロジェクトとして、北杜市の「中部横断自動車道活用検討委員会関係者ワークショップ」と板橋区の「補助第 26 号線と沿道まちづくり相談窓口開設支援業務」に取り組んでいます。

●山梨県北杜市中部横断自動車道活用検討委員会関係者ワークショップ

今までのまちづくりワークショップのノウハウを活かして中部横断道が完成した後の北杜市のまちづくりを考えるワークショップですが、高速道路そのものに対する反対者がいる状況の中で住民参加に対する北杜市職員の不信感があり、予定通り進んでいません。今年度完了する予定が来年度にずれ込むことになりそうです。



山梨県北杜市中央自動車道に関するワークショップ

●板橋区補助第 26 号線と沿道まちづくり相談窓口開設支援業務

東京都の道路補助第 26 号線を施工するにあたり、立ち退きを迫られる地権者の方に対する生活再建支援を目的とした常駐窓口の運営支援です。こちらの方は、日常的に地域マネジメントに取り組んできた玉川まちづくりハウスの活動経験に近い業務内容かもしれません。この道路は平成 32 年度完成予定であり、この窓口も完成まで 5 年間設置されることになっています。

板橋区大山の 26 号線に関する常駐相談窓口

どちらの事業もまちづくりを設置目標に掲げていますが、具体的な道路事業の推進という目的があることによって予算化されています。玉川まちづくりハウスは、日常的に地域の住民の暮らしを支援し、コミュニティマネジメントを業務としていますが、こうした活動に予算がつくという枠組みが日本ではまだないというのが現状です。安定的な経済的基盤を確立するためには、不動産資産を保有し運用するか、公的施設の運営管理を指定管理で受託するという方法が今のところ考えられるビジネスモデルです。玉川まちづくりハウスの安定的な事業スタイルはまだまだ見えてきませんが、とにかく昨年度はこの二つの協働事業によって何とか黒字化することができたことをご報告させていただきたいと思います。

■ NPO 法人玉川まちづくりハウス
運営委員長　伊藤雅春
運営委員　林泰義　平松陽一
監事　杉浦 宏嗣
事務局スタッフ　小西玲子（運営委員）
池田麻未　柴田希美絵
製作　2015 年 12 月 1 日

ＮＰＯ法人玉川まちづくりハウス　２０１５年度活動報告

〒158-0085　東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10　TEL:03-3721-8699 FAX:03-3721-8986
http://www.tamamati.com　E-mail:tamamati@q06.itscom.net

2015 年度トピックス

助成金　1,485,000 円

●認知症を考える講座
2014 年
11 月 30 日
2015 年
1 月 18 日
＊その他楽多の会で毎月第一土曜日
勉強会を行っています

●お隣さまお茶会
2014 年
11 月 24 日 vol.1 アコーディオン演奏
12 月 8 日 vol.2 フラワーアレンジメント

2015 年
1 月 12 日 vol.3 マンドリン演奏
2 月 9 日 vol.4 アロマクリームづくり
3 月 9 日 vol.5 ハーモニカ演奏
4 月 6 日 vol.6 豆クラフト
6 月 8 日 vol.7 歌を唄いましょう
7 月 13 日 vol.8
ステンドグラス風ガラス器お絵かき
9 月 7 日 vol.9 デコパージュせっけん

2015 年度トピックス

地域密着型認知症予防ネットワーク構築事業

●「認知症を考える講座」「お隣さまお茶会」「御用聞き型見守りモデル事業」が始まりました！

玉川まちづくりハウスが主として活動している世田谷区九品仏・奥沢地域は、環境もよく、経済的には比較的豊かな地域ですが、反面振り込め詐欺などの特殊詐欺に狙われたり、比較的近隣のことには介入しないことが常識になっている傾向があり、実は困っている方が多いという地域でもあります。これまで、『地域の福祉を考える楽多の会』や、『玉川田園調布住環境協議会』などの事務局活動をしてきて、地域に住み続け年を重ねていくためには、安心できる場、コミュニティが不可欠だと痛感してきました。こうした困難に対して、この地域の特性に合わせた生活支援のモデル事業を提案し、それが認知症予防や、困りごとの早期発見になればと「お隣さまお茶会」「認知症を考える講座」「御用聞き型見守りモデル事業」を始めることにしました。

この場に集うことから、悩みが共有され、それを解決していくための手立てを考えていけるようになればと考えています。この活動は独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成金を受けて活動しています。

●「認知症を考える講座」

2014 年 11 月 30 日（日）デイ・ホーム田園調布 1 階で認知症の講座を開催しました。

「認知症家族のおしゃべり会」を主宰している西澤さんが司会。つい 40 年前まで認知症は精神病の範疇で、人らしい待遇や対応はほとんど望めなかったこと、それが今は、家族だけでなく地域で支えることが大事であるとされていることを学びました。

●「お隣さまお茶会」

2015 年 1 月 12 日、SONORE によるマンドリンの演奏。懐かしい曲のアンサンブルの音色に聞き惚れました。この日は 24 名が参加。初対面同士でも話の輪が広がりあっという間に打ち解けて 2 時間が過ぎました。

●「御用聞き型見守りモデル事業」

困っているから助けてほしいと言われてサービスを提供するのではなく、こちらから半ばお節介に出向いて何かをさせていただく形をとっています。

・サロン活動の送迎
・庭木の手入れ

地域協働事業

お手伝い事業
①玉川田園調布住環境協議会
②楽多の会
③シェア奥沢
④安全・安心まちづくり
⑤ねこじゃらし公園

ネットワーク事業
①子育て支援活動
②社会資源発掘事業
③九品仏アートフェスタ
④地域講座
⑤玉まちフェスタ
⑥ WAM（トピックス１ｐ）

情報発信事業
①ハウスニュース
②ホームページ
③冊子
わたしのまち魅力発見マガジン vol.4
『今日は自由が丘を歩こう。』発行

NPO 連携事業
①世田谷区住まいまちづくり相談

地域協働事業―世田谷区玉川地域を対象に活動しています

お手伝い事業

それぞれの活動が発足するときの支援活動を行いました。その活動を担う人材が別に現れて活動資金も別に調達し独立していくことが、ハウスの活動の特徴です。今は事務局作業の一部を支援しています。

①玉川田園調布住環境協議会・・・事務局担当

●６月 14 日 (日）第 29 回住環境協議会総会が開催されました。

地区計画が発効して 15 年が経過しました。玉川田園調布住環境　協議会は地区計画・地区街づくり計画と、これと一体のまちづくり協定を知っていただき、これを活かすことを主な仕事としてきました。
2000 年度～ 2013 年度の間に、総計 118 件、年平均８件程度の新・増築がありました。2014 年度は、１０件の新築計画についての協議がありました。建築主がお住まいになる戸建て住宅の他、環八沿線の車の展示場１件、マンション計画２件、小規模共同住宅１軒、また、玉川田園調布２丁目に建設予定の保育園について事前の相談がありました。

●玉川田園調布２丁目に建設予定の保育園について

玉川田園調布２丁目４番地に認可保育園建設の計画が進められています。長い間空き家だった 255 坪の比較的大きな敷地です。社会福祉法人ゆずの木が世田谷区の公募に応じて整備・運営事業者に選定され、世田谷区の基準に則り補助金を受け建設するもので区の施設ではありません。

計画では、161 名定員［0 歳：15 名、1 歳：26 名、2 ～ 5 歳：30 名］とのことで、区内でも最大規模の保育園として 2016 年４月には開園されることとなっていました。区内の待機児童の状況を考えると、遠方から通う方も多く利用することが容易に予想されるので、送り迎えの際の自転車の混雑や自家用車の駐停車のトラブル対応策が望まれます。子どもの声を騒音と捉えるかどうかについては議論のあるところですが、隣接する方にとっては毎日のことなので十分な対策が必要です。

この保育園計画については、建築主の社会福祉法人ゆずの木による説明会が 2014 年２月 25 日の第１回以降､4 月末までに３回､心配なさっている周辺近隣住民主催の意見交換会等、５月９日には、八幡小学校に於いて、玉川田園調布住環境協議会主催で、意見交換会を開催しました。

そして、６月 14 日の住環境協議会総会でもこの保育園計画に対して活発な意見が交換されました。６月 14 日以降関係各署との話し合い、９月５日住環境協議会として近隣の方の意見を聞く会などが開催されました。交通量の調査を含め、事業者と住民間で合意形成を築いた上、保育園整備計画をスタートしていく、町会も警察と連動して交通対策を具体化していくということで進めています。

公共的な施設を地域で受け入れていくことは、その地域に住む私たちの責任だと思います。近隣の方だけにお任せするのではなく、地域の多くの方が関心を持って見守っていく必要があると考えます。保育園を子育てのための地域資源として捉えることができればよいと考えています。

情報発信事業

①ハウスニュース

毎月月末に会員向けニュースを発行しています。ニュースではハウスの活動を随時紹介しています。

②ホームページ　HP: http://www.tamamati.com　Twitter: @tamamatihouse

ブログとツイッターで地域講座の日程などすぐにお知らせしたい情報を、リアルタイムでお伝えしています。イベントの詳細など随時掲載しています。ぜひ遊びにきてください。

③冊子

■地域の魅力発見マガジン vol.4『今日は自由が丘を歩こう。』を発行しました！

今年度も「地域の絆ネットワーク支援事業」の助成金を受け、わたしのまち魅力発見マガジン vol. 4『今日は自由が丘を歩こう。』を作成しました。第１弾は九品仏、第２弾は奥沢周辺、第３弾は玉川まちづくりハウスのある玉川田園調布を取り上げ、今回は自由が丘にスポットを当ててみました。雑誌等でもよく特集される自由が丘ですが、玉川まちづくりハウス独自の視点で自由が丘デパートの歴史や地域の人々に取材をしました。冊子は玉川まちづくりハウスで配布しています。

世田谷区地域の絆再生支援事業　245,000 円

▲『今日は自由が丘を歩こう。』表紙

NPO 連携事業

①世田谷区住まいまちづくり相談

「住まいまちづくり住宅相談ネットワーク」は世田谷区の相談事業「住宅まちづくり総合相談」を担当する３つの NPO 法人で作っている団体です。住まいの困った！をまちづくりに関わる建築士としてアドバイスしていくことを目的にしています。

世田谷区５支所と三軒茶屋の６ヶ所で月２回ずつ開催され、玉川まちづくりハウスは、玉川地域と三軒茶屋の２カ所を担当しています。

隣地間のトラブル、工事の際の業者との話し合いの進め方、また予め知っておいた方がいいことはなにか？についての相談が多く見受けられます。

会員の枠組み改変について

2015 年９月末をもって会員制度を一部変更いたします。

玉川まちづくりハウスは発足以来 15 年、正会員、賛助会員、ニュース会員の３種類の会員制度で活動してまいりました。

会員の拡大は毎年重要な課題となってきましたが正会員の拡大は難しく、15 年を経過する中で高齢化も進み、従来のまま維持していくことは困難な状況となりました。

この状況を改善するため、従来の賛助会員のみなさまに正会員になっていただき議決権を持っていただくことになり、賛助会員は、会費はそのままで正会員、これまでの正会員は特別正会員と呼称いたします。正会員には総会での議決権があることが変わるだけで他は変更がありません。年度末に総会資料をお送りし、総会への出欠をお伺いいたしますので、ぜひ出席していただけますようお願いいたします。

⑤玉川まちフェスタ

● 12 回目の玉川まちフェスタ

2015 年 5 月 17 日（日）12 回目、恒例の玉川まちフェスタが開催されました。

今年は少し趣向を変え、東北のものをみなさんに買っていただくことで、被災地を応援できたらと考えました。玉川まちづくりハウスメンバーがこれまでの活動で関わってきた東北で活動しているグループ、団体に声をかけ、ブースを無償で提供しそこで扱っている品物を売ったり、活動を報告しませんか、と提案しました。結果 8 つのグループに参加していただき、活動団体同士の交流もできたようでよい結果になったのではと思います。

第 2 会場となるえんがわ inn では 5 回目となる東儀秀樹さんが今年もすばらしい演奏を聴かせてくださいました。毎年無理なお願いに快く応えていただいてありがとうございます。このコンサートの売上げの半分を今回来てくださった被災地支援団体のみなさまに寄付いたしました。（収支は以下）

初めての試みもあり、反省は多々ありましたが今後も被災地を支援できる形を模索できるよう考えていきたいと思います。多くの方の支えがなくては継続できない「玉川まちフェスタ」、今年もたくさんのご協力、ご支援ありがとうございました。

●コンサート売上げから参加団体への寄付

今回参加してくださった東北ブースのご紹介です

【陸前高田米崎地区　金野誠一さん】

金野さんは被災地でそれまで積み重ねてきた微生物による土作りの成果を活かし、除塩することなく最初の年から無肥料、無農薬のお米「ほのか」を収穫。2012 年には宮本三郎記念美術館のイベントでその味を披露したこともあります。当日はお米「ほのか」の他に自然農によるそば粉も販売。

【SAVE TAKATA】

一般社団法人 SAVE　TAKATA は陸前高田復興を目的として設立された地元組織です。農業、IT 産業、若者事業を軸に地域の課題に取り組んでいます。今回はりんご農家支援を目的に開発された米崎りんごジュースとジャムを販売。

【吉浜元気組】

大船渡市三陸町吉浜地区に住む青年漁師を中心とした 10 人が立ち上げたグループです。彼らが開発した海産物・りんごジュースを販売。

【SAVE　IWATE　しずおか】

静岡で復興支援カフェを開設し、地元商品を販売している SAVE　IWATE しずおかからへんべい汁、盛岡冷麺を販売しました。

【石巻 MARCHE】

毎週土曜日に大田区大森にあるアキナイ亭という空き店舗を使って石巻市の水産加工物を販売したり石巻を知ってもらうイベントを企画しています。今回は海産物の缶詰などを販売。

【岩手県気仙沼郡住田町道の駅・種山ヶ原　ぽらん】

玉川まちづくりハウスとつながりのある邑さぽーと（住田町で震災被災者の仮設住宅のコミュニティ支援）と町おこしをしている東京の団体が地元産の素材を活かして作られたほうれん草やマスカットサイダーなどを販売。

【日本冒険遊び場づくり協会】

震災で被災した地域で遊びを通じた子どもの心のケアを目的として子どもたちがいきいきと遊べる場所づくりの支援活動の事業紹介や書籍販売をしました。

【tamuro】

九品仏商店街で石巻の牡蠣を提供する知る人ぞ知る美味しいお店です。今回はあなごずしやＴシャツを販売。

総売上	￥398,970
支出	－￥130,640
純売上	￥268,330

・コンサート入場料 97,000 円の半額を参加団体へ寄付

寄付　48,500 円

『石巻 MARCHE』、『岩手県気仙沼住田町道の駅・種山ヶ原ぽらん』、『日本冒険遊び場協会』、『tamuro』へ寄付しました！

②地域の福祉を考える楽多の会・・・**事務局担当**

講演をする新里隆弘先生

楽多の会では毎月第1、3水曜日は『玉田茶話会（午前中はラージャヨガ)』、第2、4水曜日は『らくだサロン（午前中は健康体操)』、毎週水曜日は『健康麻雀』、さらに『はがき絵』、『お習字』、『セラピードッグ』などさまざまな企画で活動しています。

2015年6月21日（日）に行われた「楽多の集い」では都立松沢病院・東京都認知症疾患医療センター長の新里隆弘先生をお招きし、「認知症を知ろう！」と題して講演をお願いしました。

また、毎月第一土曜日にはデイホーム玉川田園調布で「認知症勉強会」を開いています。

③シェア奥沢・・・ハウスとの情報交換

「シェア奥沢」はNPO法人「土とみどりを守る会」の堀内さんが、自宅の一部を開いて様々なかたちで利用できるスペースです。コワーキングスペースとして、イベント会場として、シェアキッチンとして、様々な交流から新しい交流、価値を生み出そうという試みです。

今年度はWAMの活動にご協力いただきました。

シェア奥沢の活動について詳細はhttp://share-okusawa.jp/をごらんください。

④安全・安心まちづくり（防犯パトロール）

昨年度の活動は、定常的なパトロール活動、犯罪情報の提供活動に加えて、2014年12月14日には、「隊員の輪！フォーラム」を町会会館２階で開催しました。前田前隊長に隊員一同から感謝状をお渡しするサプライズ企画の後、パテ屋さんのおいしいおつまみを頂きながら、参加された２０名あまりの方お一人お一人からお話していただきました。2015年1月18日には、日本市民安全学会と共催の生活安全フォーラム「親の子育て、地域の子育て」をランチルームで開催しました。参加者は、日本市民安全学会の理事の方を中心に３０名ほどでした。田園調布幼稚園からは何人か先生も参加されました。角田先生と清水さんのコラボレーションで子育ての話がまちづくりに見事に展開しました。

加えて、今年度は私たちのまちのバス通りに突然横断歩道が出現するということもありました。これは、林のり子さんが玉川まちづくりハウスの定例会で提案されたことが契機となって、町会の吉次さんとのり子さんによる警察への働きかけによって実現したことです。目に見える大きな成果としてご報告したいと思います。

今年度は、青パトを中居さんに引き継いでいただき、事務局会議に吉江さん、藤田ドクターという新しいメンバーも加え事務局の若返りを図っていきたいと考えています。

前田前隊長に感謝の気持ちを込めて楯を贈呈

⑤ねこじゃらし公園・・・活動参加

グループねこじゃらしの活動により、公園の管理・清掃が続けられています。

発足20年を超え、活動を続けていくため次の体制をどう作っていくかが大きな課題となっています。

ネットワーク事業

他の団体とネットワークすることで広がりを持ったり、こちらが企画して人と人との結びつきを深めようという事業です

助成金　285,000 円

①子育て支援活動

●プレーリヤカー、世田谷区で 6 つの団体が取り組んでいます

おもちゃを積んだリヤカーを公園に持っていって、子どもの外遊びを推進するという「世田谷区自然体験遊び場づくり事業」を毎月第 3・第 5 水曜日に行っています。今年度も引き続き等々力保育園と協働して園の敷地内にプレーカーを置かせていただき、保育園の地域交流の企画と連動し、保育園のお向かいの「ねこじゃらし公園」で活動を行いました。

②社会資源発掘事業『宮本三郎記念美術館と地域の会』

●「人ひろば」では多彩なゲストをお招きしています

宮本三郎記念美術館を応援している「宮本三郎記念美術館と地域の会」との懇談のなかから生まれた講演会「人ひろば」。今年度は開館 10 周年記念講演、人ひろばの第 27 回～第 30 回が行われました。

「人ひろば」は奥沢～玉川田園調布～自由が丘の地域にゆかりのある人物を講師にお招きして多彩なテーマでお届けする講演会となっています。

第 28 回、講演する三島邦弘さん

2014 年 10 月～ 2015 年 9 月までの「人ひろば」

12 月 7 日（日）第 27 回「テレビの正体」
講演者：高橋修（映像プロデューサー）
3 月 7 日（日）第 28 回「自由が丘で出版社をするということ」
講演者：三島邦弘（ミシマ社代表）
6 月 27 日（土）第 29 回「額縁にもワケがある～知らなかったガクブチの世界～」
講演者：飯塚深（額装師）、石井亨（絵画修復家）、橋本善八（世田谷美術館学芸員）
9 月 27 日（日）第 30 回「運転手が要らない！クルマ社会はこんなに変わる」
講演者：鶴原吉郎（技術ジャーナリスト）

写真提供：宮本三郎記念美術館

2015 年度年間スケジュール

2014 10	11	12	2015 1	2	3
地域講座 カリグラフィー 10/6,10/13 プレーリヤカー 10/15,10/29	地域講座 カリグラフィー 11/10 プレーリヤカー 11/19 お隣さまお茶会 vol1 11/24 認知症予防とケア講座 11/30	地域講座 カリグラフィー 12/ 1,12/8 プレーリヤカー 12/17 お隣さまお茶会 vol.2 12.8 ★ハウス総会　12/20	地域講座 カリグラフィー 1/19 プレーリヤカー 1/19 認知症予防とケア講座 1/18 北杜市 WS 1/16 防犯パトロールフォーラム 1/18 お隣さまお茶会 vol.3 1/12	地域講座 カリグラフィー 2/2,2/9 プレーリヤカー 2/25 お隣さまお茶会 vol.4 2/9 認知症予防とケア講座 2/7 北杜市 WS 2/6	地域講座 カリグラフィー 3/2,3/30 プレーリヤカー 3/18 お隣さまお茶会 vol.5 3/9 認知症予防とケア講座 3/7 『今日は自由が丘を歩こう。』完成
★九品仏アートフェスタ カリグラフィー作品展＆ WS 10/31 ～ 11/1 九品仏アートフェスタ SHOP! 11/2 展覧会 11/2 ～ 11/4					

③九品仏アートフェスタ

2014 年 11 月 5 日、アートを仲立ちに地域を盛り上げるようなことができたらいいなと玉川まちづくりハウスはじめ地元有志が実行委員会形式で取り組んだ九品仏アートフェスタの 2 回目が開催されました。

今年は『地域講座カリグラフィー作品展＆ワークショップ』（下記）、『九品仏アートフェスタ SHOP!（フリーマーケット九品仏と同時開催）』、『地元クリエーターの作品展』の 3 つの企画が行われました。

SHOP! では 28 店舗が並び、アクセサリーや小物、焼き菓子などが並びました。

Twitter : @9b2artfes
facebook : facebook.com/9b2artfes

世田谷区地域の絆再生
支援事業　235,000 円

④地域講座

●カリグラフィー講座 (毎月第一・第二月曜日　講師：根岸香津代先生)

2014 年 10 月 31 日（金）～ 11 月 1 日（土）あおぞら銀行フィナンシャルオアシス自由が丘にて『九品仏アートフェスタ』とともにカリグラフィー展覧会＆ワークショップを行いました。

＊そのほか運営委員会、ニュースレターの発行、世田谷区の住宅相談などを毎月行っています。

4	5	6	7	8	9
地域講座 カリグラフィー 4/6,4/27 プレーリヤカー 4/15,4/29 認知症予防とケア講座 4/4 お隣さまお茶会 vol.6 4/6 加地紙展覧会 4/25～5/17	★玉川まち フェスタ 5/17 地域講座 5/11,5/25 カリグラフィー プレーリヤカー 5/20 認知症予防とケア講座 5/2	地域講座 6/1,6/8 カリグラフィー プレーリヤカー 6/17 お隣さまお茶会 vol.7 6/8 住環境協議会総会 6/14 認知症予防とケア講座 6/6	地域講座 7/13 カリグラフィー プレーリヤカー 7/15,7/29 認知症予防とケア講座 7/4 お隣さまお茶会 vol.8 7/13	認知症予防とケア講座 8/1 プレーリヤカー 8/19	地域講座 9/7 カリグラフィー 認知症予防とケア講座 9/5 お隣さまお茶会 vol.9 9/7 プレーリヤカー 9/16,9/30